

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】平成22年11月4日 (2010.11.4)

【公表番号】特表2010-503687(P2010-503687A)

【公表日】平成22年2月4日 (2010.2.4)

【年通号数】公開・登録公報2010-005

【出願番号】特願2009-528336(P2009-528336)

【国際特許分類】

C 0 7 K 7/08 (2006.01)

C 0 7 K 14/00 (2006.01)

C 1 2 Q 1/02 (2006.01)

A 6 1 K 38/46 (2006.01)

A 6 1 P 43/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/00 (2006.01)

A 6 1 P 9/00 (2006.01)

A 6 1 P 25/00 (2006.01)

A 6 1 P 35/02 (2006.01)

A 6 1 P 1/16 (2006.01)

A 6 1 P 13/12 (2006.01)

A 6 1 P 11/00 (2006.01)

A 6 1 P 27/02 (2006.01)

A 6 1 P 11/06 (2006.01)

A 6 1 P 9/10 (2006.01)

A 6 1 P 29/00 (2006.01)

A 6 1 P 19/02 (2006.01)

A 6 1 P 17/12 (2006.01)

A 6 1 P 37/02 (2006.01)

A 6 1 P 25/08 (2006.01)

A 6 1 P 17/06 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 K 7/08 Z N A

C 0 7 K 14/00

C 1 2 Q 1/02

A 6 1 K 37/54

A 6 1 P 43/00 1 1 1

A 6 1 P 35/00

A 6 1 P 9/00

A 6 1 P 25/00

A 6 1 P 35/02

A 6 1 P 1/16

A 6 1 P 13/12

A 6 1 P 11/00

A 6 1 P 27/02

A 6 1 P 11/06

A 6 1 P 9/10

A 6 1 P 9/10 1 0 1

A 6 1 P 29/00 1 0 1

A 6 1 P 19/02

A 6 1 P 17/12

A 6 1 P 37/02

A 6 1 P 25/08

A 6 1 P 17/06

【手続補正書】

【提出日】平成22年9月13日(2010.9.13)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

2 以上のペプチドを含む単離されたEphB受容体結合化合物であって、各々のペプチドはEphB受容体と選択的に結合し、前記 2 以上のペプチドのそれぞれが 5 ～ 50 アミノ酸残基の長さを有する、前記単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 2】

約100nM以下の解離定数 (Kd) を有する、請求項 1 記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 3】

EphB受容体のエフリン-Bリガンドとの結合を約100nM以下のIC₅₀で阻害する、請求項 1 又は 2 に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 4】

さらに、ポリエチレングリコール (PEG) リンカー、異種ポリペプチド、ヒトIgGのFc領域若しくはその断片、放射性同位体、検出可能な標識又はペプチドミメチックを含む、請求項 1 ～ 3 のいずれか 1 項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 5】

2 以上のペプチドの少なくとも 1 つが配列番号 1 ～ 75 のいずれかのアミノ酸を含む、請求項 1 ～ 4 のいずれか 1 項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 6】

EphB受容体がマウスEphB受容体またはヒトEphB受容体である、請求項 1 ～ 5 のいずれか 1 項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 7】

EphB受容体がEphB1、EphB2、EphB3、Eph4、EphB5、またはEphB6である、請求項 1 ～ 6 のいずれか 1 項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 8】

2 以上のペプチドの少なくとも 1 つが配列番号 39、配列番号 40、または配列番号 41 のアミノ酸配列を含む、請求項 5 記載の単離されたEphB受容体結合化合物。

【請求項 9】

請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の単離されたEphB受容体結合化合物および製薬上の担体を含む化合物。

【請求項 10】

新生物疾患、血管疾患、または神経障害を治療または予防するための医薬の製造における、請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の化合物の使用。

【請求項 11】

新生物疾患が癌である、請求項 10 記載の使用。

【請求項 12】

EphB受容体発現細胞の数を減じる *in vitro* の方法であって、前記細胞を請求項 1 ～ 8 のいずれか 1 項に記載の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項 13】

EphB受容体発現細胞の増殖を抑制するin vitroの方法であって、前記細胞を請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物と接触させることを含む方法。

【請求項14】

サンプル中のEphB受容体の存在を検出する方法であって、サンプルを請求項1～8のいずれか1項に記載の化合物と接触させ、該化合物の存在を検出することを含む方法。